

【参考】講師等プロフィール



牧野 友衛（（一社）メタ観光推進機構 代表理事）

Google マップや YouTube の日本版の開発、Twitter の国内の利用者拡大の責任者を務め、2016 年から 2020 年までトリップアドバイザーの代表取締役。総務省「異能（Inno）vation プログラム」スーパーバイザー、日本政府観光局デジタル戦略アドバイザー、東京都の観光振興を考える有識者会議委員も務める。



真鍋 陸太郎（同 理事）

東京大学教授。大学総合教育研究センター教育 DX 推進部門長、大学院担当。専門は、まちづくりと情報、都市計画、住民参加実践、まちづくり DX、教育 DX。近年は、東京大学でのキャンパスマネジメントシステム構築に携わる他、文京区でのコミュニティーカブの利活用ワークショップ「あなたの名所ものがたり」や、大田区大森山王商店街のデジタルサイネージをコミュニティーカブの開示装置として活用する「まちまど」などの実践研究を進める。



菊地 映輝（同 理事）

武蔵大学社会学部准教授、博士（政策・メディア）。2017 年、慶應義塾大学大学院後期博士課程単位取得退学。東京工業大学リベラルアーツ研究教育院研究員、国際大学グローバル・コミュニケーション・センター主任研究員・講師等を経て2024 年より現職。専門は文化社会学、情報社会論等。株式会社 Lab.808 代表取締役、東京文化資源会議広域秋葉原作戦会議メンバーも務める。現在は、情報社会における文化事象について都市とネットを横断する形で研究を行う。



暗渠マニアックス（吉村 生・高山 英男）

『暗渠マニアックス！』（柏書房）著者、吉村生・高山英男によるユニット。特定暗渠を深掘りする縦軸（吉村）×多数暗渠を俯瞰してみる横軸（高山）との役割分担で、日本中の「暗渠目線」を開拓中。他の共著に『暗渠パラダイス！』（朝日新聞出版）、『まち歩きが楽しくなる 水路上観察入門』（KADOKAWA）、『「暗橋」で楽しむ東京さんぽ 暗渠にかかる橋から見る街』（実業之日本社）など。



石山 蓮華

電線愛好家・文筆家・俳優。日本電線工業会公認・電線アンバサダー。TBS ラジオ「こねくと」メインパーソナリティ。テレビ番組『タモリ倶楽部』や、映画、舞台などに出演。著書に『犬もどき読書日記』（晶文社）、『電線の恋人』（平凡社）がある。Instagram @renge_ge

齋藤 佳



ドンツキ協会・会長。地元墨田区北部・向島エリアで、まちに数多く存在する行き止まりの道、すなわちドンツキをまちの個性として捉え、その観察・研究また表現活動により、ドンツキと徹底的に向き合い、関わり合いながら、ドンツキの地位向上を図るべく活動を実施している。ドンツキを巡るツアー「ドンツキクエスト」のほか、ドンツキを活用したイベントを不定期に開催。「タモリ倶楽部」「アド街ック天国」ほかテレビ・新聞・ラジオ等にも多数出演。